

進路だより

平成26年12月24日
大阪府立守口支援学校
進路指導部 発行第2号

☆後期体験実習

高等部2年生は、後期実習期間に合わせて企業や守口市内の福祉事業所に全員が体験実習に出ました。

Bコース（職業自立コース）の生徒は企業での体験実習を2週間行いました。前期に体験実習を経験していることもあり、全員しっかりと取り組むことができました。実習先はニトリ、キンキ寝具、エルアイ武田、(株)イズム、麦の穂です。

Aコース（生活自立コース）の生徒は全員が2箇所の事業所等で初めての体験実習を行いました。実習先はひだまり、桜の園、ジェイ・エス守口、ようき・すなお第一です。スクールバスあるいは徒歩で実習先に行き、軽作業やレクレーション活動等を一日体験しました。初めての体験実習で緊張したこととは思いますが、指導員さんや利用者の方々に優しく丁寧に教えていただきながら実習を行うことができました。また、2日間の実習を行った京阪百貨店では、「いらっしゃいませ」という挨拶に必要な笑顔、発声、お辞儀の練習から始まり、箱折りやチラシ折り等のほか、売り場の店員さんからハンカチのパッケージ詰めの指導も受け、「働く」ことについて身近に体験することができました。

校外での実習をやり遂げ、大きな自信と次への意欲につなげることができる貴重な経験を積むことができました。

☆施設見学（交野自立センター）

後期実習期間中に、高等部1年生は交野自立センターに行きました。企業就労を目指すグループと福祉就労を目指すグループの2班に分かれて、見学をさせていただきました。事業所の活動の様子を見学することで、卒業後の社会参加のイメージを掴み、今後の学習に結び付けることを目的として今回の活動を実施しました。みんな真剣に係の方の説明を聞き、中にはメモをとりながら話を聞く生徒もいました。今回の学習ではひとり一人が様々なことを感じたことと思います。とても有意義な時間を過ごすことができました。



☆支援教育サポート企業表彰

クルーヴなみはや & 株式会社麦の穂 守口ケーキファクトリー



学校近隣の都市型介護付有料老人ホーム クルーヴなみはやと、株式会社麦の穂 守口ケーキファクトリーが本校の推薦により、大阪府教育委員会から平成26年度支援教育サポート企業として表彰されることになり、9月29日に大阪府公館の大サロンにて受賞式典がありました。

両社共に本校高等部の職業教育に協力を頂き、クルーヴなみはやには1年B組の生徒が毎水曜日の職場実習でお世話になっています。高等部に入学したばかりの1年生が実際の職場に足を運ぶのは期待感と不安感が入り混じる、勇気のいる最初の一步となります。そのような生徒達を毎年、温かく受け入れ頂けていることは本当に有り難いことで、大阪府の支援学校の中でも数少ない取り組みです。

一方、麦の穂には2年生の体験実習でお世話になっており、平成25年春には1名雇用して頂きました。現在は先輩が立派に働く姿を横に見ながらの2週間の体験実習となり、実際の職場で学ばせて頂くという点では学習の価値が二倍にも三倍にもなっているのではないかと喜んでます。

このように企業と支援学校が日常的に連携を図りながら学習を展開していく先に、毎年、約二割程度の生徒達が障がい者雇用制度を利用しながら企業に進路をとっていていることは本当に有り難いことだと感謝しています。



保護者の皆様からの「企業開拓情報」も、お待ちしております！



☆同窓会

11月9日（日）、秋の同窓会が行われました。同窓生・保護者、教員を合わせて100名を超える参加がありました。会長のあいさつの後、みんなでお弁当やお菓子を食しながらクイズに挑戦したり、それぞれに近況報告をしてもらったりしました。

今回の同窓会では、保護者の方にも参加してもらった「じゃんけん大会」、みんなが白熱した「玉いれ」、そして、全員お楽しみの「ビンゴゲーム」をしました。たくさんの笑い声や、仲間と協力して勝利した喜びの声などが、体育館に大きく響き渡りました。「ビンゴゲーム」では、数字が発表されるたびにワクワクドキドキ。あちこちから「ビンゴ〜!!」の声。景品をもらえた人々は満面の笑顔でした。

ゲームで盛り上がった後、全員で写真撮影をし、次回の再開を約束して閉会しました。

☆寝屋川支援学校交流

中学部3年生は進路学習の一環として、10月17日（金）に寝屋川支援学校との交流会を行いました。当日は寝屋川支援学校の体育館でしっぽとりゲームや、キャタピラー競争などを共に楽しみながら取り組むことができました。また11月14日（金）には、守口支援学校高等部の授業を見学させていただきました。中学部にはないクリーニングや縫製、窯業といった授業も見学し、先輩たちの頑張っている姿を見ながら進学への意識を高めました。



☆PTA施設見学会

秋の施設見学会は保護者からの希望をもとに行っています。今回は、平成26年6月から事業運営されている守口市大枝西町の「ステラ守口（就労継続支援A型事業所）」を見学しました。見学者は9名でした。

守口市駅から南へ徒歩約7分のところにありました。生憎の雨模様でしたが、参加予定者の方は全員来て頂きました。事業所は、ワンフロアの広いスペースで、長机が10台余裕を持って配置できるぐらいの広さがありました。現在在籍されている方は15名です。

はじめに、代表の井上さんから詳しい説明があり、その後実際に作業されている方の近くでの様子を見学をしました。見学当日の作業内容は、20cm程度の棒磁石にプラスチックケースをはめ込む作業でした。作業手順をいくつかの工程に分けて、個々の利用者さんに合わせた取り組みをされていました。普段はラジオなどを流しながらリラックスした雰囲気の中でお仕事をされていますが、ほとんど私語がなく、支援員の方から注意することはほとんどないそうです。

代表の井上さんは沖縄で仕事をされていたこともあり、貝を用いた雑貨などは、沖縄のB型事業所のお土産屋さんへ送っているそうです。説明の中では、就労継続支援A型とB型との違いや、ステラ守口の基本理念について熱く、熱く語って頂きました。

今後は、施設内作業だけではなく、清掃などで施設外作業にも取り組んでいきたいとおっしゃっていました。

〔保護者アンケートより〕

- まだ、新しい事業所であるのことでしたが、私としては理想に近い満足のある見学会となりました。丁寧な説明、利用者の方が自分の意思でそれぞれの仕事をされている様子は好印象でした。時間給が支払われていることも魅力です。
- 私が一番大事に思うことは、どこまで障がい者に寄り添ってくれているかということです。少しの配慮で出来ることは増えると思います。施設としてはまだまだ改善の余地があるかと思いますが、ステラ守口のような働いて収入を得られる、自立に一步近づける事業所が増えてくれると嬉しいです。
- 今回の見学会は、施設の方が丁寧に説明して下さい、きちんとした施設なんだと感じ、施設の方の誠意も感じました。ただ、場所的に車椅子がムリなのが残念だなと思いました。A型ということではなかなか条件に合わないのですが、もし条件に合えばあんな所で働くことが

出来たらいいなと感じる施設でした。

- 子どもはまだ中学生なのですが、今後の参考にしたいと思いましたが、前回はB今回はAで雰囲気もずいぶん違うなあと思いました。事業所の内容もきちんと説明して下さい、分かりやすかったです。



☆PTA進路講演会

寒さが厳しくなる12月4日（木）にPTA進路講演会を開催しました。今回は門真市にある嘉能食品工業株式会社の代表取締役社長、関東久二氏を講師に迎え、「私と守口支援学校とのかかわり」という演題で貴重なお話を聞かせて頂きました。

関東社長は本校開校前の寝屋川養護学校分教室の平成7年から関わりを持って頂いており、地元企業として障がいのある生徒たちの学習や福祉資源の確保・充実に多大なご尽力を頂きました。当時の進路担当者からの切実な訴えを受けて、自社の中に企業内福祉事業所を、また、守口市内にも進路先の確保のために社会福祉法人を新規に立ち上げるなど、地域の障がい福祉分野を独創的な取り組みで切り開いて頂いてきたこととなります。次年度、開校20周年を迎える中、本校も開校当初から基礎作りの10年目までの取り組みを知る教員や保護者もほとんどいなくなっています。このような大きな節目に関東社長のお話を聞かせて頂いたことは本当に意義のある講演会であったと感じています。

講演の最後に「わしの仕事は、もう終わったやろ!？」と微笑んでおられた関東社長のお顔が強く印象に残っていますが、「いやいや・・・社長、まだまだです。これからもよろしく!」と思わず大きな声で返答してしまう心温まる講演会でした。

〔保護者アンケートより〕

- 障がい福祉の先駆者としてのご苦勞や経験をお聞きし、エネルギーを頂きました。いま、この先の福祉の発展は様々な方々のご努力で成り立ってきたことだと感じます。勉強になりました。
- 今、福祉施設や作業所があるのは当然だと思っていたけれど、関東さんが作って頂いたきっかけになっていたなんて知らず、とても有り難く、偉大な方だと思いました。卒業後の行き先があるのは関東さんのような方と熱心な先生方のおかげなんだと改めて思い、有り難く思います。
- この世の中に、こんなにすごい方がいるんだなと思いました。自分の子どもに障がいがある親でさえ、ここまでできないと思います。もし、普通に仕事をされているだけなら、ある程度、貯金もたまり老後はのんびりと贅沢に過ごせたかもしれないのに相談をされたら快くお金を出し、障がいのある人の為にやってあげる。こんな事は誰にでもできる事ではありません。社長のような素晴らしい考えの人が世の中にたくさんいたら障がいのある人達ももっと生活がしやすいのになと、つくづく感じました。

☆ご購入ありがとうございました。

「もりもりギフト」は守口市内の福祉事業所で働く障がい者の皆さんが、心をこめて制作している品々です。皆さんからの温かいご協力の売上げが、事業所で働く利用者さんのボーナスとして支払われています。今回も全校の保護者の方にお知らせし、84個、約9万円の購入をしていただきました。ご協力ありがとうございました。